

DOSHISHA

Tokyo Journal

同志社東京ジャーナル

2022
Spring
No.127



同志社東京校友会 INDEX

表紙写真：寒梅館（室町キャンパス）

- ・【若手校友座談会】若手校友と校友会活動
～ 現状と課題、今後の活動について ～
- ・登録団体活動レポート・テニス部OBOG会
- ・2021年 関係諸団体の活動レポート
- ・片桐家同志社五代記（四十）
- ・連載コラム 今出川・京田辺四季

- ・DXイノベーションチャレンジ 2021
- ・同志社スポーツ・硬式野球部
- ・「2022 秋の集い」のご案内
- ・新島襄生誕の地碑に献花
- ・定時総会・評議員会・幹事会のご案内
- ・校友会「俳壇」



若手校友座談会

30～50代の校友が語り合う

ウィズコロナ、
ポストコロナを
見据えて、
いま——

東京校友会への期待

春号の特別企画として、今回は東京校友会の若手5人に集まっていただき、「若手校友と校友会活動」というテーマでウェブ座談会を開催して大いに語っていただきました。

はじめに

新田（副代表幹事・同志社東京ジャーナル編集長） 皆さん、今日は

はお忙しい中、ありがとうございます。今日は「若手校友と校友会活動」というテーマで、現状と課題、今後の活動について、ご議論いただきたいと思います。

司会・谷村（常任幹事） 今、新田編集長からお話がありましたように、校友会活動は、どうしても時間に余裕のある年配者が中心になりますが、今回は、若手校友が集まっていたいただき、これからの東京校友会の活動について、様々なご意見、見解を伺っていききたいと思います。まず、自己紹介をお願いします。

大槻 大槻博史と申します。1994年卒業です。商学部を卒業してすぐ、池田銀行に入行して7年ぐらい、やりたいことを全部やらせていただき、その後、アメリカで勉強をして、30歳から、ユタ州本社のトランスバスクパートナーズ東京事務所のアセットマネージャーとして、投資案件のマーケティングや事業戦略とかをやっております。

谷村 続いて大畑さん、どうぞ。
大畑 大畑幸司、38歳です。

2006年の卒業で、みずほ銀行に勤めまして、20年8月から、アクサ生命保険で勤務しています。10年頃から東京に来て、東京校友会に参加したのは15年、「春の集い」からです。

谷村 李良剛さん、お願いします。

李良剛 イヤンガンと申しまして、在日コリアン3世の36歳です。現在、メットライフ生命保険でライフプランナーをしております。大学では、硬式野球部に4年間所属していました。1年就職を遅らせて、カナダと韓国の方に留学した後に、日本サムスンに勤務。2009年から東京に出て、そこで7年ほど仕事をした後に、今のメットライフ生命に転職。16年の「春の集い」に弟とはじめて参加したのがきっかけです。

谷村 はい。では、弟さん。

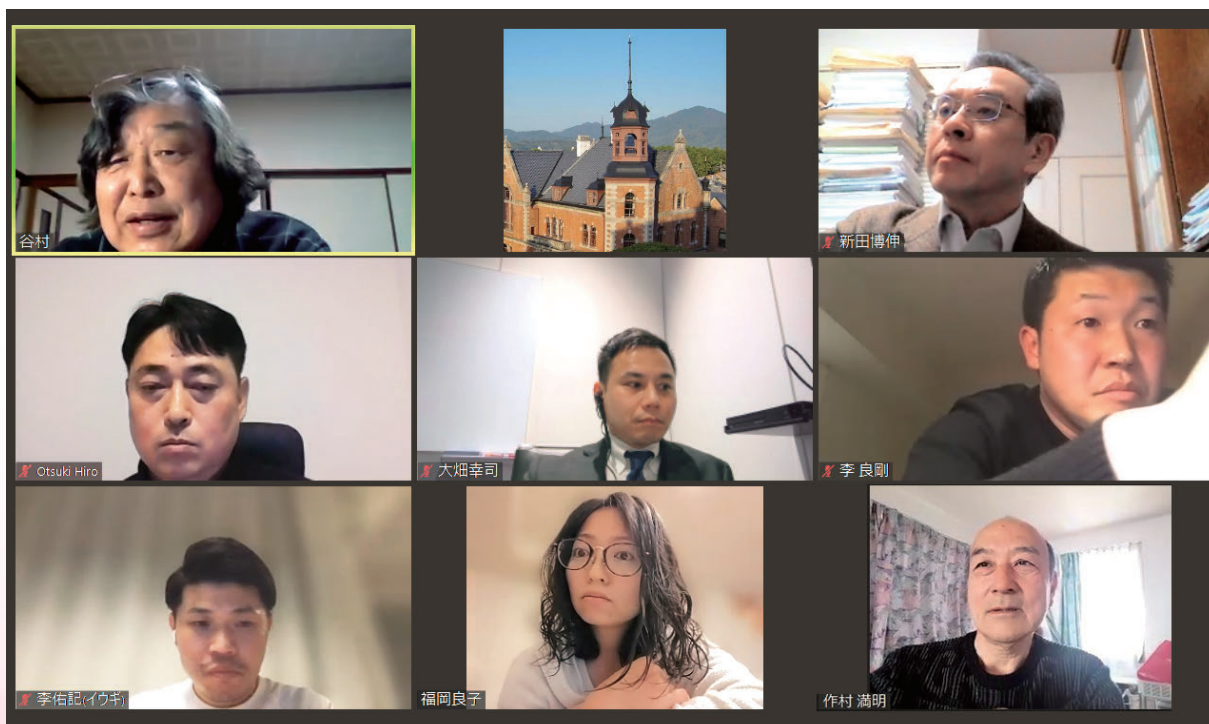
李佑記 イウギ、34歳です。法学部卒で、日本生命に総合職として入りました。27歳で個人事業主として独立をしまして、現在は、(株)Humansを設立し、主に小売業と中小企業支援の事業を営んでおります。

谷村 福岡さん、お願いします。

福岡 私は2011年、商学部卒業ですが、休学があり、35歳

になります。2年間休学している間に、気象予報士の資格を取って、そのまま仕事をしたという

谷村 NHKでよく拝見してお



「まん延防止等重点措置」実施中のため、座談会はオンライン（ZOOM）で開催された



司会 谷村常任幹事

東京校友会との「きっかけ」

りました。

谷村 なるほど。わかりました。

皆さん、卒業後、関東圏で生活することになったという話ですが、その中で、同志社に東京校友会があることを知っていたかどうか。いかがでしょう。

福岡 多分、何かで「春の集い」のことを知って、行ってみたのだと思います。初めて「春の集い」に参加して、そこから校友会につながっていったような気がします。今はメディア系のつながりが広がって、その集まりにちょっと顔を出したりしていったという感じです。

谷村 李佑記さんはどうですか。
李佑記 兄と一緒に2017年の「春の集い」に参加したっていうのが経緯なので。兄からどうぞ。

李良剛 そうですね。同志社大学東京オフィスの安永さんから

の誘いで参加しました。

谷村 東京にも校友会があったのか、みたいな感じ？

李良剛 そうです。東京校友会の認知度は、フェイスブックページから一気に上がったということがあると思います。私はたまたまサテライトに行ったことがきっかけで、「春の集い」に参加し、そこで出会った先輩方から、いろんな集まりがあると知りました。

谷村 お話を伺ってみると、この年代にはフェイスブックの影響は大きいですね。
李良剛 はい。卒業してからは、やっぱり情報の空白ができてしまうので、そういった動線を作っていく必要があると思います。フェイスブック、インスタグラムなど、みんなが取り上げているのを見て知ったというのがきっかけじゃないでしょうか。

「春の集い」の印象

谷村 「春の集い」へ参加してみての印象はどうでしたか。

李良剛 OB、OGの方々が本当にご尽力されていますが、若手をもっと活用して、元気澁刺にやるとか(笑)。中身のコンテンツ自体がやっぱり若手向けになっていない。これでは、多分、

若手は集まりにくいと思います。

もって若手が前面に出るコンテンツや面白いものがないか。この時代、オンラインでどうやってやるのかっていう事なども考えていく必要があると感じます。

李佑記 同志社という価値観というか、絆というか、そういったものはあるのではないのでしょうか。同じ大学出身という自分のアイデンティティによるものでしょうね。その「春の集い」がきっかけで、今でも続いている交友関係がありますから、本当に20代の若手のうちにああいう場に参加させていたいたのはすごく有意義だったなと感じています。

谷村 なるほど。大畑さんはどんなきっかけだったのですか。
大畑 私もやはり「春の集い」から参加しました。

谷村 それ以前に、東京校友会はご存じでしたか。
大畑 多分、案内状からです。はじめは、東京校友会があるという認識は、大学卒業後も東京に来て無かったと思います。佐藤優さんの講演があるということに興味があって、「春の集い」に参加しました。

谷村 参加した最初の印象ってどんな感じでした？



大槻博史さん (1994年・商)

大畑 全員に席があるんだ、こんなにいい料理が出るんだ(笑)、すごいなっていうのが第一印象。また参加者がこんなにいるっていうのも驚きでした。

校友会との「つながり」

谷村 「春の集い」は東京校友会最大のイベントで、参加者も600人以上になりました。諸先輩の大変なご苦労があったのですが、さて、これから更にということになると、皆さんのお知恵を借りなくてはと思います。大槻さんはどんな経緯で？

大槻 私は約20年前に東京に来たのですけれども、そのときに不動産業界の方から「不動産関連の職域OB会、クローバー倶楽部」というものがあるので入らなにか」と誘いを受けたのが東京校友会との最初の接点です。去年、仕事で江東区に大きなホテルを作ったのですが、そのホテルを同志社のOBに使用してほしいと

いうことで、東京オフィスの安永さんのところに行って相談した時に、「東京校友会にも、ぜひ参加してみてね」って言われました。これで初めて東京校友会を認知したという次第です。

谷村 よく分りました。今までのお話の中でも、安永さんというお名前がでしたが、そういうキーパーソンがいてこそですね。

新田 安永昌代さんは東京オフィスの大学職員で、東京校友会の常任幹事でもあります。

谷村 東京校友会の基礎組織として、卒業年次会だとか、それからいろんな業種別の会があります。今、大槻さんの方から「不動産関係のクローバー倶楽部」というお話がありましたけれども。そんな感じで現在所属しているというのがありますか。大畑さんはいかがでしょう？

大畑 私は東京メディアクローバー会の事務のお手伝いを昨年1年間しておりました。

谷村 メディアクローバー会に入る前から、東京校友会の会員にはなっていたのですか。

大畑 そうです。そこで先輩から誘われて、メディアクローバー会のお手伝いを、ということ。

谷村 先だって李良剛さんに『東

京ジャーナル』に出ていただいたときに安永さんが記事を書いてくれましたが、そのときのテーマ「ヤングオール同志社」というひとつの運動、なのかな、これについてちょっと語っていただけますか？

李良剛 もっと若手に焦点を置いた集まりがあればいいなと感じていて、じゃあ、自分で作ってみようと思ったわけです。それで、「春の集い」などで若手に出会ったら、とにかく若手同士いろいろ情報交換をする場とか、自分のキャリアや自分の仕事、同志社に対する思いとか、そういうつながりを作っていたらいいなということになりました。そうやって、「ヤングオール同志社」という会を立ち上げたのが3年前です。

谷村 ヤングっていう言い方そのものも懐かしいけれど。(笑)

李良剛 目的はやっぱり若手が情報交換する場、触れ合う場を作ろうっていうことですね。40



大畑幸司さん (2006年・商)

「50人でオフラインの会をして情報交換していく場っていうのを作っていましたので、2019年12月に百人ほどにお声をかけて集まりました。」

若手からの提案

李良剛 ギャップを感じるの、同志社っていうのは京都なので、やっぱり京都の校友会本部が東京のことを理解しきれてないな、ということを感じます。東京に行く、こんなにつながりがなくなっていくって感覚とか、そういう東京の現場のことについての本部とか大学の認識が全然違うってことがあるのではないのでしょうか。ですから、本部や大学をもっともつと巻き込んでいくという部分も、東京校友会をこれからどういうふうにしていくかということの中で考えていく必要があるなと思いますね。

谷村 弟さんの方もほぼ同じお考えでしょうか？

李佑記 私たちに何がどこまでできるのか、そこがもう少しクリアになるといろんなアイデアが出てくるのかなと思います。校友会の会員数を増やすというのが、まず大前提ではあるということですが、若手の感覚とし



李良剛さん (2008年・文)

ては、潜在的なニーズとかは、もう十分あると考えています。東京で就職された方って割と多いし、いろんな業界で活躍される方は、本当に多数いらっしゃるでしょうから。

やっぱり東京での同志社のつながりっていうのはすごく有意義だと思っています。東京で若手同士がつながり、何か一緒にやっていくっていうコンテンツをいろんな方に出していただき、作っていく可能性ががありますよね。

谷村 まさにそういう問題意識を共有していかなくちゃいかなと思っっていますが、福岡さんは、その辺はどうでしょうか。

福岡 私の場合は最初の大学選定の時点から、たくさん先輩がいらっしゃるところの方が卒業してからつながりがあるだろうなって思っただけなんだという所もあります。

谷村 本場にコンテンツを考え

ていかなくちや、というのはあると思います。この2年間はコロナ禍で残念ながらできていないのですが、「春の集い」の他にもいろいろイベントを東京校友会としてやっているんですよ。皆さんの耳には届いていますか？

福岡 そうですか。私はあまり印象にないです。

大槻 すみません。私もホームページを見て、新島襄の生誕の地を訪れるイベントがあるのだと知りました。私は、同志社大学に入って卒業して、それが私のアイデンティティというか、自分の心の奥底にすごく立派な大学だなんていう思いがあるんです。

そういう意味では、新島襄先生の建学の精神を知るにつけて、ますます「立派な人だな」と。私は既にコンテンツっていう意味では、同志社にはとても素晴らしいものがたくさんあると思います。ですから、周知の方法に問題があるとしたら、インスタとかLINEとか、TikTokとか、そういうものを使って戦略的に広く認知させていくことが大事ではないでしょうか。

谷村 分かりました。そういう意味で、認知のさせ方について、女性の視点みたいなのも含めて、

福岡さんからなにかご意見は？

福岡 そうですね。「春の集い」などに実際に行った友だちの感想とかがすごく影響が大きいかなと思います。友だちが「行って良かった」とか言っていれば、「じゃあ、私も行ってみようかな」と。更においしいごはんが食べられるとかになると(笑)「ああ、もう行こう」というモチベーションに変わる感じですよ。

谷村 良剛さんは、どうですか？

李良剛 佐藤優さんとか、資生堂の魚谷社長ですとか、いろんな方々のお話を講演会で聞けるというのは本当に貴重です。また、具体的には、役員の中にある程度リーダーシップのある若手を入れていくというのも1つ。例えば、インスタグラムとかTikTokっていうのが若者の主流ならば、これにどう取り組むんだっていうこと。もうひとつはコスト。校友会をもっと改革していくには、人的、時間的なこともかかるので、コストをかける。

谷村 現役の方って時間がないじゃないですか。どうしても仕事優先というのがあってしょうから。その中で、催し物に参加するのは、なかなか難しいところ



があると思うのですが、そのあたりについて大畑さんや大槻さんは、何かご意見は？

大畑 そうですね、「校友会のこういうの、やってみないか」ってお誘いいただいたとしても、そのときに、自分も変わらなきゃという危機感みたいなものがないとやらないかもしれませんね。興味のあるコンテンツとか、先ほど佑記さんがおっしゃったように、コンテンツが大事だったというのは分るんですけど。仕事が忙しいで終わらせるのではなく、どうやったら、僕らの世代が集まってくるのかを考える必要がありますね。

大槻 李さん兄弟と福岡さんが言われたことになんか同意しているところですか。これから同志社のブランディングを立ち上げて、どんどん高くするって、僕らにも全部メリットのある話だし。

すぐく良い循環が生まれる、かも

谷村 李良剛さん、どんな感じでしようか。具体的に。

李良剛 会を面白くすればいいかなと思います。正直、ちょっと乱暴な言い方かもしれないですけど、若い人を集めるだけだと、宇垣アナウンサーとか、霜降

り明星とか、もうちょっと同世代に寄った方々を呼べば、シンプルに若手側も何か面白そうだなって、普通に集まる。あとは、オフラインの集まりは時間帯とか、枠組みの構成、もしくは、年齢層で分けるのか、そういったところで工夫する必要がある。会費はやっぱり、若手のことを考えると、ある程度世代別に段階をつけていくと、より若手も参加しやすいのかな、と思いますね。

谷村 佑記さんはどうでしょう。

李佑記 僕の中ではある程度答えが出ていて、どの層を増やしていきたいのか、そのためにはどのコンテンツをぶつけていくのかを考えてみたい。40代、50代はもうしっかりしたものがあつたりするし、その年代になるとトラディショナルなものとか、人生観とかも変化があつて、歴史に目を向けてみようとか、同志社の文化に触れてみようとか、ちょっとそういう変化もあるでしょう。



李佑記さん (2010年・法)

ですから、20代、30代に向けては、何か受けるもの。そこに向けてのコンテンツをピンポイントで育てていくっていうことをやるのと、盛り上がるかなというふうに思っています。やっぱり若手が盛り上げないと。

谷村 刺激的ですねえ。

李佑記 年齢が上の方が多いと、若手は入りづらいっていうのがやっぱりあるんですね。逆に若手だと、あんまり属性に関係なくすぐ友達になれる。若手のリーダーを立てて、広報にして、それを今の若手がよく使う媒体を選んで、そこにコンテンツをぶつけていって、きちんと年齢制限を設けていく。そういうことを若手の中で自由にやらせてみる。今の若手は、いろんなコミュニティに気軽に属しながら、仕事もいろいろやりながらというのが当たり前なので。ですから本当に寝る間も惜しんでこのコミュニティを盛り上げていう、みたいな、そういう若手が普通に出てくるんじゃないかなと感じます。まずは雪だるまの芯を作り、きちんと自由度を持たせた中で、そのコンテンツを一生懸命作らせてあげる。そして、ウェブマーケティングだった

たりコミュニティづくりの中で、すごく長けていらっしゃるメンターみたいな方が卒業生の中で多分いらっしゃると思うので、そういった方にもアドバイザーで入ってもらったりする。そうすると、その若手層のキャリアだったたり、語れるものにつながったり。インターンみたいな形で、すごく鍛えられるみたいな、すごく良い循環が生まれるかな。とにかくそこに向けての、まずは雪だるまの芯を作っていくっていうこと。それがすごくキーンのかなと思います。

谷村 いいお話だと思います。やっぱり京都から東京へ来たときに、東京校友会は頼れる、東京校友会に相談に行けばなんとなかな、みたいな存在にならなきゃいけない、ということですよ。今までのお話も含めて、福岡さんから、東京校友会の催し物だとか参加の仕方、何かご要望なりご意見、ありましたら伺えますか。

福岡 カズレーザーさんとか、やっぱりすごい人気だと思わなくて、有名人をお呼びするのが効果的かなって。でも、一方で、この間私が参加したとき人間国宝の方がいらっしやっていて、ただ



福岡良子さん (2011年・商)

ならぬオーラあつて、やっぱり生で見るとほんとすごいというのを感じました。それってやっぱり同志社の卒業生だからできることだなとも思いますので、そういう緩急というか、古いものと新しいものとかを取り入れながら、いろんな方の心に刺さるような内容だと、いろんな方が来やすいのかなって感じがします。

あと、参加した人に感想を発信してもらおうと、私みたいに、その感想を見て、「行きたいな」と思う人も増えると思うので、会の存在を知ってもらうきっかけにはなるのかなと思いますね。

谷村 わかりました。『東京ジャーナル』の今回のテーマとしては、本当にいいお話をたくさんいただき、ありがとうございました。こうした内容が東京校友会の活動に反映されて、更なる活性化につながるよう、ご協力をお願いできれば、と思います。

文責／作村満明 (77年・法)

連載 ⑬

登録団体活動レポート

副幹事長

テニス部OBOG会

樋口眞一(83年・経)

創部200年の大計に向けて

体育会テニス部は、慶應義塾大学、早稲田大学に次ぐ、日本では3番目に歴史ある部です。「文武両道」をつらぬき、「良心」と「自由」の同志社スピリットで学生を育成し、自分自身でも、また家族にも「誇れる部」を目指しています。

この一球

「この一球は絶対無二の一球なり」

これは、第1回全日本庭球選手権大会シングルスチャンピオンの福田雅之助さんの言葉です。目を閉じると、はつきりと私の人生の中の、この一球が歓声とともに目に焼き付いています。それは1982年4月8日、関西学生大学対抗庭球リーグ戦の入れ替え戦で、2部リーグ優勝の同志社大学と大阪大学との試合で、川勝幹夫選手(83年・経)のフォアハンドのパッシング

団体概要

【団体名】
同志社大学体育会
テニス部OBOG会

【設立年月日】
1905年

【代表者】
会長 港 章(1975年・工)

【会員数】
600名

【連絡先】
s.higuchi0531@outlook.jp
樋口眞一(1983年・経)



同志社テニス Since1905

グシヨットがエースになり、同志社大学が1部リーグに昇格する瞬間でした。それから約40年間、同志社大学テニス部男子は、紆余曲折はあるものの、ほぼ関西1部リーグで戦ってきています。1984年、85年、88年から91年まで関西1部リーグで優勝し、全日本大学対抗テニス王座決定戦に出場しています。昨今では2013年に王座に出場し、慶應義塾大学に4対5の僅差で惜敗し、全国第3位となりました。

また女子も90年に念願の1部リーグに昇格し、紆余曲折はあるものの、2019年には1部リーグに復帰しています。

現在、部員数約50名で、王座出場を目指し、京田辺のコートで鍛錬と精進を積み重ねております。

創部1905年

近代テニスは1874年(明治7年)に、イギリスで「ロー

誇れる部

先日、大学卒業以来約40年ぶ

ンテニス」として確立したことに始まると言われております。この年は、同志社の創立者 新島襄先生がアメリカから帰国した年でもあります。さらに、1878年に日本にテニスを紹介したとされるアメリカ人のリーランド博士は、アモスト大学の出身者。また同志社に近代テニスを紹介した人物は、新島先生から受洗し、同志社と早稲田で活躍した安部磯雄先生だと言われています。1905年、同志社運動部規則が制定された年に、テニスは正式な部として発足致しました。

りに、当時戦っていた関西学院大学、甲南大学、京都大学の仲間と食事をする機会がありました。そこで「同志社の選手は、いつも礼儀正しく、スポーツマンシップにのっとり、試合をしていても、気持ち良かったよ。ええやつが多いよな。」と言って頂きました。嬉しかったです。これは同志社スピリットである「良心」と「自由」の教育を受けてきたからだと確信しています。

スポーツの世界なので、チャンピオンになることを目標にして、毎日練習を重ねてきています。ただ、同志社は「文武両道」を求められ、スポーツも、勉強にも注力する必要があります。さらに、人として尊敬されるような人間教育も受けてきております。社会人になり、会社で幹部として期待される、また結婚し、家庭を築いていく。そのようなときに、テニス部で学んだことが活かされ、自分自身も、また家族にも「誇れる部」であるべきだと思っています。

同志社東京校友会副会長の港章氏(75年・工)がテニス部のOBOG会会長もされていますが、「OB OG間の親睦を深めよう」ということで、2021

年11月に、関西四大学(同志社大学、関西大学、大阪大学、大阪市立大学)のOBが集まり、テニス大会を開催しました。約20名が集まり、和気あいあいというより、現役時代さながらの真剣勝負の熱戦が繰り広げられ、見事同志社大学が優勝しました。左の写真は、ユニフォームも揃えたその時の雄姿です。



四大学OB戦
(左から大矢、樋口、港、河島、角田、善野、和地)

若草萌えて

昨今スポーツに注力し、有望高校生をスカウトしている大学が増えています。ただ、同志社大学は「文武両道」の精神を貫いています。テニス部のみならず、同志社大学スポーツが活躍することを祈念しております。「男々しく立て 同志社」



2021年 東京校友会 関係諸団体の活動レポート

団体名	イベント名、日時、会場、参加者数、講演者、講演テーマなど
神奈川県支部	「神奈川の集い2021」（総会・講演会）11月21日（日） オンライン開催 41名参加 植木朝子学長講演「同志社の現状と未来」 通信環境が無くオンライン参加が出来なかった支部会員のために下記イベントを実施 「神奈川の集い2021 ビデオ映写会と同志社ラグビー応援の会」12月26日（日）12名参加 その他の支部公式活動はコロナの影響で開催を中止致しました。
千葉県支部	「総会・特別講演会」6月5日（土）山崎製パン企業年金基金会館 植木学長による特別講演会「梁塵秘抄の世界—平安時代の流行歌」 昨年に続いて本年も対面での開催は中止、総会のみ書面決議としました。「千葉再発見の旅」などのイベント、「音楽、美術、ゴルフ、Chiba ウォーク」等のサークル活動も中止。 一方新たにZOOMによる勉強会「千杉会」がスタート。「支部だより」は春と秋に発行。
埼玉県支部	2021年度に予定していた下記の行事は、いずれもコロナ禍のため中止・延期しました。 「同志社マンドリンクラブ演奏会」（9月）川口市リリア音楽ホール 「埼玉県支部総会」（11月）大宮・東晶大飯店 「新年会」（1月29日）浦和市内
群馬県支部	2021年に予定していた下記の行事は、いずれもコロナ禍で中止しました。 「第8回春の集い」（3月） 「群馬県支部総会・講演会・懇親会」（10月3日）マリエール高崎 総会は文書による「活動報告」と「会計報告」の2議案を議決（212通発信で否決無し） 「新島研究会旅行」（10月）ゆかりの地（松山・今治・しまなみ海道）へ2泊3日
栃木県支部	栃木県支部は活動休止の状況でしたが、2021年11月以降、同志社校友会からの要請を受け、東京校友会の支援のもと栃木県地区における支部組織を復活させるべく、2022年6月の「栃木県支部設立総会」開催に向けて、支部再設立準備担当（発起人一同）が活動しております。
茨城県支部	コロナ禍の不安により、10月24日に予定していた総会・懇親会は中止となった。各役員より書面での会計報告承認を得たのち、11月10日付で2021年度の決算報告書を全433部送付した。同時に「VISION2025」の資料を同封し募金への賛同をお願いした。
山梨県支部	2021年に予定して下記の行事は新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、残念ながらいずれも中止いたしました。 「夏の集い」（7月）「第9回総会・講演会・懇親会」（12月） 総会は、講演者等決定前に役員で協議する中、やむなく開催中止を決定。 総会は書面で決議し、全員から承認を得ました。
長野県支部	「同志社フェア in 松本」4月29日【開催中止】 「長野県支部総会・講演会・懇親会」開催中止にて書面決議 「植木学長 来訪」7月27日 松本パルコ 「同志社フェア in 松本」2022年7月9日開催に向けて 12月15日（水）キックオフミーティング 松本商工会議所
同窓会東京支部	「総会」5月26日（水）ZOOMにて 参加者29名 委任状12名 議決権行使書25名 計66名 霊南坂教会後宮敬爾牧師の奨励「種時く人生」 「ニューズレター」2月12日発行 1,734名に送付 総会議案採決結果・ZOOM総会のノウハウ 「讃美歌を楽しむ会」開催不可能 「月例会」ZOOM役員会「こころみ」続行中
樹徳会東京支部	「総会・講演会・懇親会」12月4日（土）学士会館 講演：百合野正博氏（同志社大学商学部名誉教授） コロナ禍にて開催中止となりました。
同経会東京プロジェクト	例年、秋頃に日本プレスセンターで開催しております「東京のつどい」は、新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、参加者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、2021年度の開催を中止とさせていただきます。
政法会東京支部	2021年度はコロナ禍のため全般的に活動を控えました。 「政法会会報」（53号、9月1日発行）に「東京支部だより」を掲載
理工会東京支部	2021年度はコロナ禍のために活動ができておりません。
関東同志社スポーツユニオン	「総会」10月24日（日）学士会館【開催中止】 女子ラグクロス部応援 大学選手権決勝VS日体大 11月28日（日）駒沢オリンピック公園 ラグビー部応援 大学選手権準々決勝VS帝京大 12月26日（日）秩父宮ラグビー場

連載
連企

片桐家同志社五代記

その四十

文／片桐 陽(67年・工)

同志社学生聖歌隊(DSC)

には高校からの仲間も入部したが、受験して大学に入った者の方が多かった。中学、高校と6年間一緒に学び友達というより兄弟姉妹というような付き合いをして来た仲間ではなく、日本各地から入学してくる人との付き合いは、新鮮そのものであった。私達推薦入学組は、入試という難関を全く経験することもなく、どちらかというとのほほんとしているのは当然といえばその通りなのだが、外部から入ってくる人は、同じ歳と思えない程大人の感じがした。

大分から来た古庄史郎君など、堂々としたもので、ちょっと見ると生徒というより先生のよう



大学1年生の筆者(前列右端)と古庄君(後列右端)

に見えたものだ。当時高校時代の仲間と一緒のハイキングに彼を誘ったのだが、掲載写真はその時のもので、古庄先生が生徒を引率して来たというような画面に思わず笑ってしまう。DSCで彼は私と同じベースだったこともありすぐに仲良くなったのは勿論で、我が家にも頻繁に遊びに来るようになった。

清里での夏期合宿時の彼のエピソードを書かせていただく。

合宿では、午前、午後、場合によっては夜も練習が続くのだが、昼食後でお腹いっぱい午後の練習は、夜更かしの我々には一番きつい時間だった。宗教曲の途中、長い休止から次の合唱が始まるのだが、みんなが緊張して次の部分を歌おうとした時、ズズズと大きないびきの音が聞こえ、みんなで大爆笑。その音の主が古庄君だったが、練習中に寝てしまった強者である。

さて、卒業後彼は金属加工会社勤め東京に移り、暫くは付き合いも途絶えてしまった。しかし私が28歳で東京に転勤、31歳で横浜に住まいを購入、彼も

我が家から車で10分と近くに住んだことから、その後は家族ぐるみで付き合い合うようになった。

学生時代に初めて彼に会ってから既に60年になろうとしているが、未だに親しく付き合い合えるのは、同志社に学んだこと、学生聖歌隊での繋がりがあったからこそと感謝している。

話がちょっと脱線するが、彼との武勇伝を一つ披露したい。彼は仕事で韓国に駐在していたことがあり、韓国語も流暢に話すが、その折の付き合いから、2009年「日韓交流カラオケ大会」に出場することになる。それには日本と韓国で予選がありそれを通らないとソウルでの決勝には出られない。それに二人で挑戦したのだ。聖歌隊で慣らしたこともあり、デュエットで無事予選通過。

ルールは単純で日本人が韓国の歌、韓国人は日本の歌を歌うのみ。私は韓国語が堪能な彼の指導で韓国語を猛練習、80年代に流行ったグループの曲を私がハーモニーを付けて歌い決勝戦で熱唱、何と二百数十組の中で優勝してしまった。7回目の大会で、初めて日本人がグランプリを獲得したのだ。

今出川・京田辺四季



スポーツユニオン副会長
ラグビー部OB会名誉会長
村口和夫(72年・法)

50年前の花園ラグビー場での死闘

私は同志社香里高校から法学部に入学、先輩の強引な勧誘でラグビー部に入部しました。当時は学園紛争の最盛期、落書きだらけでバリケード状態でした。

そんな訳で岩倉グラウンドに通う毎日で、練習が終わると擦り傷だらけでした。現在の京田辺のグラウンドは、原先輩やファンクラブ会長の「がんばり」の小島さんらの寄付により立派な人工芝になっており、隔世の感があります。

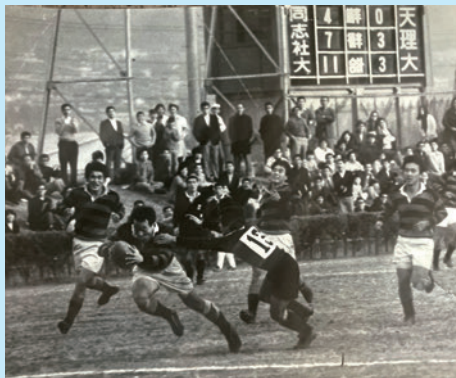
在学中の同志社は関西ではほぼ無敵でしたが、全国大会ではベスト4止まりでした。ラグビーはルールがよく変わるスポーツですが、全てオープンに展開させるのが目的の変更です。中でも最大の変更は、選手の入替えが可能となったこと。

今では8人のリザーブが認められ、監督の判断で随時入れ替えが可能となっていますが、当時は負傷退場したら減員のままゲームを継続していました。

4回生の関西リーグ、花園ラグビー場で近畿大学との試合、前半でFWの主力が脱臼、後半でもう一人のFWが

骨折し、残り40分間13人对15人で戦いました。ゲームリーダーとして闘い続け何とか試合に勝ちましたが、終了後監督の故・岡先生から、お前らもやればできると褒められました。4年間で褒められたのはこれが最初で最後で、全国大会は早稲田に敗れベスト4で終わりました。

卒業後、社会人の新日鉄釜石の選手としてソウル、スコットランドなどで試合を経験しましたが、今でもこの近畿大学との試合が一番記憶に残っています。亡くなった平尾君以来我が同志社は30年以上全国優勝から遠ざかっていますが、現役の奮闘を期待しています。



天理大との決勝戦でトライする筆者



後列左から 吉田一茂さん、飯塚紘子さん、宿久洋教授
前列左から 岡部格明さん、東海林岳寛さん、酒井俊樹さん

トピックス おめでとう！ やったね！

DXイノベーションチャレンジ2021

同志社大学生とUAC

合同チームが準優勝！



文化情報学部・研究科の学生達のDXイノベーションチャレンジ(以下「イノチャレ」)での成果は、校友と大学教授の東京オフィスでの出会いが始まりました。

イノチャレは、デジタル社会を牽引できる人材の育成を目的とする実践プロジェクトで、育成セミナーからビジネス企画コンテスト決勝審査まで約半年かけます。同志社大学の学生3名と、株式会社ユビキタスAIコーポレーション(以下UAC)のチームが「データを基にしたジョブ型の働き方」を提案し見事準優勝/IPA審査員特別賞に輝きました。(詳細はイノベーションチャレンジで検索してください。
<https://innovation-challenge.biz/>)

学生と企業人をつなぐ

チームの結成はイノチャレ審査委員の小西一有さん(88年・工学部工業化学科卒)がUACの長

谷川社長と文化情報学部の宿久教授をつないだことで実現しました。宿久教授の同志社講座(東京オフィス)を小西さんが受講されて以来交流されてきました。

宿久教授は「学生に企業の方々とのコラボができるいい機会をいただき感謝しています。データとAI活用がジョブ型雇用社会への変換につながることを期待しています」とコメント。

UACからは、プログラマーを経て現在はディレクター(企画室主任研究員)の吉田さんと事業部長の飯塚さんが参加、チームを牽引してくださいました。リモートワークでのメンバー管理が日常という飯塚部長は「データによる業務評価、可視化は重要になっています。今回のプロジェクトはIT業界の将来的な採用面でも意義のあるものでした」と総括。

吉田一茂さんは「外資系企業のプログラマーはすでにジョブ型です。成果の評価をAIとデータの組み合わせで定量化することを目指しました。オンラインで打合せを重ねましたが、学生さん達からは毎回着実にアウトプットがあり会社のプロジェクトみたいで楽しかったです」とのこと。学生の感想も聞きました。

岡部格明さん(博士課程1年)
「評価がされない同一賃金のアルバイトでの不満をテーマ設定の入り口にしました。発表までの活動でマネジメントを多く学ぶ機会となりました」

酒井俊樹さん(4年次生)

「社会人の方とのプロジェクトは初めて。学ぶことはかりでした。特に、コンペに出ていくまでのアイデア出しは新鮮な経験でした」
東海林岳寛さん(4年次生)

「働いておられるお二人からはとても刺激を受けました。面白くないので消そうとした発想を広げていく時などは特に、手法の多さに感動しました」

*年次は取材時のものです。

本件は、東京オフィスが東京の校友と大学をつなぐHUBとして機能した好事例となりました。

文責/安永昌代(81年・経)

小西一有さん から一言



DXは、データ解析により社会的な構造変化を指します。そこで、統計・解析が専門の学生が活躍の場があります。学生さん達が初出場で見事に準優勝に輝き企画委員としても大学OBとしても誇らしい気持ちです。

(イノチャレ企画・審査委員/合同会社タツチコア代表/同志社大学大学院嘱託講師)



選手から学生コーチへ転向した岡田健吾さん

硬式野球部 「提案する」学生コーチ

怪我で選手を辞めても野球は続けたい。自ら学生コーチに立候補し、選手の意見に耳を傾け提案するコーチになった。

選手から学生コーチへ転向した岡田健吾さん。硬式野球部の岡田健吾さん（経済学部3年）は2021年度秋季リーグを最後に選手を辞め、学生コーチとなった。高校の頃に名門福知山成美高校野球部の主将を務め、5年ぶりに春の選抜へチームを導いた実力者。しかし、高校時代から悩まされていた怪我を理由に、大学では学生コーチという新しい道へと歩み出した。

野球との出会いは小学5年生の時。友達に誘われて練習体験に参加したのが始まりだった。当初は野球を面白いと思えず、辞めたいと考えていた。そこで父に提示された野球を辞める条件は「ホームランを打つこと」。小学生には難しい条件だったため、安易に辞められなくなってしまう。そこからしぶしぶ続けていた野球は、次第に岡田さんの重要な財産となる。中学では強豪クラブチームに所属。実力が認められ、高校から声がかかった。1年からレギュラーとして出場し、より近くで先輩がチームを引っ張る姿を見ていた。「自分もチームを引っ張ってみたい」という思いから主将に立候補。野球嫌いだった少年がチームを引っ張る立場になった。

硬式野球部の岡田健吾さん（経済学部3年）は2021年度秋季リーグを最後に選手を辞め、学生コーチとなった。高校の頃に名門福知山成美高校野球部の主将を務め、5年ぶりに春の選抜へチームを導いた実力者。しかし、高校時代から悩まされていた怪我を理由に、大学では学生コーチという新しい道へと歩み出した。

チームの最前線で活躍していたが、大学まで野球を続けるビジョンがなかった。高校3年の夏頃にはすでに怪我で満身創痍だったため、「この夏で野球人生を終わらせよう」と考えていた。しかし、引退試合で感じた悔しさをバネに、野球を続けることを選んだ。ただ、大学野球は全国からスポーツ推薦で選手が集められる。共に切磋琢磨していく中で、レベルの違いを思い知らされていた。

秋リーグが終わり、チームは新体制へと移っていく。新チームの中から学生コーチを選出しなければならなかった。立候補者がいない場合、監督から直接転向の声がかかる。選手を辞めたい人など誰もいない。そのような状況で岡田さんは学生コーチに立候補した。理由は怪我が完全に治っていないかったことや、「仲間に頑張ってもらいたい」ということだった。「怪我で思うようにプレーができない自分が残り、怪我をしていない選手が学生コーチへの転向を勧められる」。これが彼の考えた、最悪の状態

チームの最前線で活躍していたが、大学まで野球を続けるビジョンがなかった。高校3年の夏頃にはすでに怪我で満身創痍だったため、「この夏で野球人生を終わらせよう」と考えていた。しかし、引退試合で感じた悔しさをバネに、野球を続けることを選んだ。ただ、大学野球は全国からスポーツ推薦で選手が集められる。共に切磋琢磨していく中で、レベルの違いを思い知らされていた。



硬式野球部の岡田健吾コーチ（経済学部3年）

秋リーグが終わり、チームは新体制へと移っていく。新チームの中から学生コーチを選出しなければならなかった。立候補者がいない場合、監督から直接転向の声がかかる。選手を辞めたい人など誰もいない。そのような状況で岡田さんは学生コーチに立候補した。理由は怪我が完全に治っていないかったことや、「仲間に頑張ってもらいたい」ということだった。「怪我で思うようにプレーができない自分が残り、怪我をしていない選手が学生コーチへの転向を勧められる」。これが彼の考えた、最悪の状態

秋リーグが終わり、チームは新体制へと移っていく。新チームの中から学生コーチを選出しなければならなかった。立候補者がいない場合、監督から直接転向の声がかかる。選手を辞めたい人など誰もいない。そのような状況で岡田さんは学生コーチに立候補した。理由は怪我が完全に治っていないかったことや、「仲間に頑張ってもらいたい」ということだった。「怪我で思うようにプレーができない自分が残り、怪我をしていない選手が学生コーチへの転向を勧められる」。これが彼の考えた、最悪の状態

秋リーグが終わり、チームは新体制へと移っていく。新チームの中から学生コーチを選出しなければならなかった。立候補者がいない場合、監督から直接転向の声がかかる。選手を辞めたい人など誰もいない。そのような状況で岡田さんは学生コーチに立候補した。理由は怪我が完全に治っていないかったことや、「仲間に頑張ってもらいたい」ということだった。「怪我で思うようにプレーができない自分が残り、怪我をしていない選手が学生コーチへの転向を勧められる」。これが彼の考えた、最悪の状態



全国大会（神宮）に行くことで恩返しを

岡田さんにとって野球とは「人生で一番思い入れ深く、大事なものの」。常に心に留めていることは周りの環境への感謝だ。野球をするのには多くの人が関わる。チームメイトはもちろん、指導者、親、他人のために時間を割いてくれる人たちがかりだ。それは選手でも学生コーチでも変わらない。「感恩報酬、これまでたくさんの人に支えられ今の自分がある、人から受けた恩への感謝の気持ちを持ち続けることを一番大切にしたい」と、力強く話した。チームを支え導く学生コーチ。全国大会（神宮）に行くことでまた一つ、支えていただいた皆さんに恩返しをしてくれるだろう。

橋本 純（文学部3年）



青木重之実行委員長
(1978年・経)

コロナまん延第6波が、オミクロン株の拡大で、まだまだ収束の道筋が見えない（起稿中の3月上旬現在）状況ですが、東京校友会員の皆様には、お元気で過ごしのことと存じます。「2022秋の集い」実行委員会は、今年は何とか開催に漕ぎつけるべく、具体的なイベント

前号（126号）でご案内いたしました「2022秋の集い」は、テーマを「再び集え!! ニューノーマル時代と同志社精神」新型コロナウイルスが教えてくれたこと」に決定。具体的な企画立案を急ぎます。

「2022同志社東京秋の集い」のご案内

首都圏校友の皆さんへ——実行委員長 青木重之

今年こそ、同志社スプリント!



の企画を鋭意進めています。

開催日時は、9月18日（日）、

会場は、品川プリンスホテル5F

「プリンスホール」で決定しました。

この会場は、ソーシャルデイス

タンスを確保しても、中止になっ

た昨年の最低1.5倍（450名）

は収容可能な会場で、今後のコロ

ナの状況次第で、さらに多くの皆

様の参加が可能になります。

今年のテーマは、「再び集え!!

ニューノーマル時代と同志社精

神」新型コロナウイルスが教え

てくれたこと」に決定。

コロナ克服後の新しい日常にと

う対応していくのか、新しい生き

方・働き方などについて考える機

会にしていきたいと考えています。

メインのイベントは、まず、植

木学長に、学長就任後ほとんど

のイベントがコロナで中止となる

中で、東京では初めてリアルでの

講演をお願いしています。

講演テーマは、同志社大学ピ

ジョン2025を中心に取り上げていただく予定です。

さらに、秋の集いの目玉企画と

して、小説家の真山仁さんを中心

心に異色のメンバーによる対談、

あるいは座談会を企画中です。

乞うご期待!!

また、この時代にふさわしい新

たな試みとして、リアルとWeb

のハイブリット開催にチャレンジ

します。

Webでのコンテンツは、講演

や対談（座談会）のライブ視聴は

当然として、その他に現役学生

が制作した「懐かしの今出川・京

田辺の今」を切り取った動画を

ご視聴いただく予定です。

当日、会場にはお越しいただ

けない皆様にも、お楽しみいただ

けるコンテンツをご用意したいと

考えています。

他にも、現役世代の校友の皆

さんの人的ネットワークづくり

に寄与するような「業界別名刺



会場は450名以上収容可能な品川プリンスホテルの「プリンスホール」

交換コーナー」を用意するなど、「役に立つ企画」を種々検討してまいります。

参加者の募集については、コロナの状況次第で柔軟に対応していきたいと考えていますが、東京校友会のHPやFB以外にも、SNSなどネットメディアを積極的に活用していくつもりです。

本年前半に総会等の開催を予

定されている登録団体の皆様には、実行委員が直接おうかがいしてご説明させていただきます。

また、例年のお願いで恐縮ですが、ガイドブックへの企業・協賛・名刺広告のご協力も併せてお願い申し上げます。

校友の皆様には、お誘いあわせの上ご参加くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

新島襄生誕之地碑に献花

毎年2月12日には、神田・学士会館南側に建てられた「新島襄先生生誕之地」碑前において、学校法人同志社の主催で「碑前祭」が開催され、東京校友会主催で文化事業（講演会など）や午餐会が行われています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き今年もイベントは全て中止になりましたが、2月12日（土）10時45分から神内一憲副会長と前田智彦錦町三丁目町会長が献花を行いました。



前田町会長（碑の右）を囲んで

校友会「俳壇」

選・谷村綱夢（72年・文）

梅の香や讚美歌捧ぐ校祖の碑

作村満明（77年・法）

〈評〉「花の雨」とか、いま俳句で「花」といえば「桜」のことだが、万葉の時代などの「花」は「梅」であった、それほどに古くからこの国で愛されてきた「和風」の花だけに、「洋風」文化の讚美歌との配合はやや違和感があるが、そこが逆にこの句の面白さ。またそれが同志社関係者の作であれば、なおさらに「梅」への思いが深まる。

＊随時募集。一回2句まで。無料。掲載句には表記の整理・添削などを行う場合があります。投句は、はがきは〒104-0061 中央区銀座1-15-7 MAC 銀座ビル3F同志社東京J俳句係へ、FAXの場合は03-5579-9729同志社東京J俳句係へ。

たにむら・たいむ
俳人協会／現代俳句協会
会員 俳句結社「炎環」
同人会会長 情報紙「定年時代」俳壇選者など。

大募集！〈校友・私の一句〉

2022年度定時総会・評議員会・幹事会のご案内

日程 5月26日（木）

開催方法 書面開催

※2020/2021年度と同様に、コロナ禍対応として、書面開催といたします。

議題（報告事項・審議事項）

①2021年度事業及び会計

編集後記

東京校友会では、会として取り組むべき重点課題を明らかにし、解決するために「運営改革プロジェクト・チーム」を編成して活動を開始しています。

前号の「新春座談会」でも話題になっていましたように、東京校友会にとっては「会員の増強」が最大の課題であり、特に若い世代への校友会の認知度向上とイベント参加者の拡大がカギになっています。

そこで今号では、特別企画の座談会第2弾として「若手校友座談会」を企画し掲載しました。座談会では、現役で活躍されている若い世代の方々に、もって校友会の活動に興味を持ち、イベントに参加していただくために

報告

②2022年度事業及び予算・収支計画

③その他

※お問い合わせ先（事務局）

電話 03-5579-9728

FAX 03-5579-9729

※なお、場所・開催方法を変更する場合はHPで告知します。

は、どうするべきかを活発に議論していただくことができました。「まん延防止等重点措置」実施のため、オンラインでの開催になりましたが、若手の方々から率直なご意見やご提案を数多くいただくことができましたので、それらをこれからの改革に生かしていきたいと思っています。

文責／新田博伸（77年・法）

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2022.April. NO.127 同志社東京校友会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F

電話：03-5579-9728

FAX：03-5579-9729

発行人／横山 徹

編集人／新田博伸

印刷／株式会社スバルグラフィック

https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875



人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社